



本部より

Zoological Science 新着案内の変更のお知らせ

J-STAGE システムの新機能「My J-STAGE」のリリースに伴い、Zoological Science 新着案内を受け取るには、これまでとは別の登録が必要となります。これまで新着案内サービスをご利用頂いていた方々も再登録作業をしていただかないと、新着案内を受け取ることができなくなります。ご面倒をお掛けしますがご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

これまでの Zoological Science 新着案内は日本動物学会から新着情報をお送りしておりましたが、今後は J-STAGE システムが、追加された号についての目次情報を自動的にお送りすることになります。この機能は新しくリリースされた「My J-STAGE」というサービスの 1 機能です。なお、名称も「新着案内」ではなく「資料アラート」というものになります。

(注：J-STAGE 中の説明では、資料と表現されているのは、雑誌のことを、記事と表現されているのは、論文のことを指します。)

登録の方法は、非常に簡単で、www.jstage.jst.go.jp/ja/ のページにある「My J-STAGE」登録後、Zoological Science トップページ「資料アラート登録」ボタンを押すだけです。

「My J-STAGE」には、資料アラートサービスのほか、さまざまな便利な機能がついていますので、この機会にどうぞ、登録をお願いいたします。詳細につきましては、<http://www.jstage.jst.go.jp/ja/myj-help.html> をご覧いただければと思います。

新システムについてのご不明な点は、contact@jstage.jst.go.jp まで、お問い合わせください。

< 登録方法詳細 >

1) My J-STAGE への登録

www.jstage.jst.go.jp/ja/ で表示される黄色のバー(下

記に示す)により My J-STAGE の登録ができます。



- 1) 1 の新規登録のボタンを押す。
- 2) メールアドレスとメールアドレス(再入力)、パスワードとパスワード(再入力)、メール送信言語を選択し、「次へ」のボタンを押す。
- 3) 内容を確認後、「仮登録」のボタンを押す。b) で入力したメールアドレス宛に本登録のためのメールが送られます。
- 4) お使いのメールソフトで「My J-STAGE 本登録のお知らせ(My J-STAGE Registration)」のメール内容を表示させ、内容を確認後、メール本文中に表示されている URL にアクセスすると My J-STAGE の本登録が完了します。

2) 資料アラートの登録

- a) <http://www.jstage.jst.go.jp/browse/zsj/-char/ja/> で Zoological Science のトップページに入り、右上



の「My J-STAGE ログイン」ボタンをクリックし、1) で登録したアドレスとパスワードを入力して、My J-STAGE にログインします。

- b) 「資料アラート登録」ボタンを押し、あらわれる画面で、「登録」ボタンを押すと Zoological Science の資料アラートの登録が完了します。
- c) 資料アラートの登録が完了しますと、J-STAGE トップページにおきまして、お気に入り資料に Zoological Science が追加され、資料アラートの登録を表す  が表示されますので、新着案内が受け取れるかどうかのご確認にお使いいただけたらと思います。お気に入り資料に Zoological Science が追加されても、 が表示されないと、資料アラートの登録がされていないことを表しますので、ご注意ください。

(社)日本動物学会 Zoological Science 編集

〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-2 東真ビル3F

TEL: 03-3814-6216 FAX: 03-3814-6216

E-mail: zsci@a7.rimnet.ne.jp

平成16年度第 1 回理事会議事録

日時：平成16年 3 月5日(土) 13時00分より13時30分まで
 場所：動物学会本部
 出席：理事19名(委任状含む)

山本庶務理事より定足数を満たしていることが報告された。

浅島会長により開会宣言が行なわれた。

浅島会長が議長を務め、議事録署名人として山本博章庶務幹事、蟻川謙太郎会計幹事が推薦され了承された。

・審議事項

1. 第 1 号議案 2003年度事業報告について

山本庶務理事より、事前配布資料に基づき、2003年度に行なわれた各事業の説明が行われ、報告案通り承認された。

2. 第 2 号議案 2003年度決算報告について

蟻川会計理事より、事前配布資料に基づき、2003年度の決算報告が行われた。科研費収入の減少はあったものの、順調な会費振り込み、また寄付金さらには健全化の努力の結果、2002年度に引き続き当該年度も大きな赤字とはならなかったことが説明され、決算報告案は報告案通り承認された。

3. 第 3 号議案 定款細則改訂について

2002年度において、名誉会員推薦の運用規定を改訂していたが、それに伴う定款の改定案二点が山本庶務理事より諮られた。一点目は、「定款第三章第 6 条第 3 項 名誉会員」についてである。従前は名誉会員は「満75歳以上の通常会員」から選ばれることになっていたが、この年齢制限を撤廃し、「通常・永年会員の中から」選ばれることとする案であり、二点目は名誉会員の推薦には「本人の承諾を得る」必要性をなくする案である(同章第14条の改訂)。審議の結果この2案は可決された。

以上

定款30条の規定により、議長及び議事録署名人により以上の議事を認め署名する。

平成15年 3 月 5 日

議長 浅島 誠
 議事録署名人 山本 博章
 議事録署名人 蟻川謙太郎

平成16年度第 1 回評議会議事録

日時：平成15年 3 月5日(土) 13時35分より14時05分まで
 場所：動物学会本部
 出席：評議員22名(委任状含む)

山本庶務理事より定足数を満たしていることが報告された。

浅島会長により開会宣言が行なわれた。

神谷律評議員会議長により、議事録署名人として山本博章庶務幹事、蟻川謙太郎会計幹事が推薦され了承された。

・審議事項

1. 第 1 号議案 2003年度事業報告について

山本庶務理事より、事前配布資料に基づき、2003年度に行なわれた各事業の説明が行われ、報告案通り承認された。

2. 第 2 号議案 2003年度決算報告について

蟻川会計理事より、事前配布資料に基づき、2003年度の決算報告が行われた。科研費収入の減少はあったものの、順調な会費振り込み、また寄付金さらには健全化の努力の結果、2002年度に引き続き当該年度も大きな赤字とはならなかったことが説明され、決算報告案は報告案通り承認された。

3. 第 3 号議案 定款細則改訂について

2002年度において、名誉会員推薦の運用規定を改訂していたが、それに伴う定款の改定案二点が山本庶務理事より諮られた。一点目は、「定款第三章第 6 条第 3 項 名誉会員」についてである。従前は名誉会員は「満75歳以上の通常会員」から選ばれることになっていたが、この年齢制限を撤廃し、「通常・永年会員の中から」選ばれることとする案であり、二点目は名誉会員の推薦には「本人の承諾を得る」必要性をなくする案である(同章第14条の改訂)。審議の結果この2案は可決された。

以上

定款30条の規定により、議長及び議事録署名人により以上の議事を認め署名する。

平成15年 3 月 5 日

議長 神谷 律
 議事録署名人 山本 博章
 議事録署名人 蟻川謙太郎

平成16年度第 1 回総会議事録

日時：平成15年 3 月5日(土) 14時10分より14時40分

場所：動物学会本部

出席：代議員82名(委任状含む)

山本庶務理事により定足数を満たしていることが報告された。

浅島会長により開会宣言が行われた。

浅島会長が議長となり、議事録署名人として山本博章庶務幹事、蟻川謙太郎会計幹事が推薦され了承された。

・審議事項

1. 第 1 号議案 2003年度事業報告について

山本庶務理事より、事前配布資料に基づき、2003年度に行われた各事業の説明が行われ、報告案通り承認された。

2. 第 2 号議案 2003年度決算報告について

蟻川会計理事より、事前配布資料に基づき、2003年度の決算報告が行われた。科研費収入の減少はあったものの、順調な会費振り込み、また寄付金さらには健全化の努力の結果、2002年度に引き続き当該年度も大きな赤字とはならなかったことが説明され、決算報告案は報告案通り承認された。

3. 第 3 号議案 定款細則改訂について

2002年度において、名誉会員推薦の運用規定を改訂していたが、それに伴う定款の改定案二点が山本庶務理事より諮られた。一点目は、「定款第三章第 6 条第 3 項 名誉会員」についてである。従前は名誉会員は「満75歳以上の通常会員」から選ばれることになっていたが、この年齢制限を撤廃し、「通常・永年会員の中から」選ばれることとする案であり、二点目は名誉会員の推薦には「本人の承諾を得る」必要性をなくする案である(同章第14条の改訂)。審議の結果この2案は可決された。

以上

定款30条の規定により、議長及び議事録署名人により以上の議事を認め署名する。

平成15年 3 月 5 日

議長 浅島 誠
議事録署名人 山本 博章
議事録署名人 蟻川謙太郎

平成16年度(社)日本動物学会 第 2 回理事会議事録

日時：平成16年 3 月 5 日(土) 15時00分より16時00分まで

場所：動物学会本部

出席者 理事19名(委任状含む)、事務局長

山本博章庶務担当理事により、定款27条 2 項の規定により理事会が成立していることが報告された。

浅島誠会長により第 2 回理事会の開会宣言が行われた。

浅島会長が議長を務め、議事録署名人として山本博章庶務幹事、蟻川謙太郎会計幹事が推薦され了承された。

・報告事項

1. 教育担当理事報告

松田良一教育担当理事より、席上配付資料を基に、昨年12月13日に東京大学教養学部で開催された公開シンポジウム「理数系教育の再生を目指して - 現場からの提言、現場への提言 - 」に関する報告があり、理数系教育に関わる諸課題への学会の関与の重要性について説明があった。またその一例として海外学会が取り組んでいる状況の紹介もなされた。本会は、当該シンポジウムの主催者の一つである理数系学会教育問題連絡会の一構成学会であり、分担金の負担を行ったことも報告された。

2. 広報担当理事報告

窪川かおる広報担当理事より、生物科学ニュース運営委員会の報告がなされた。ニュースとそのWEBへの掲載は順調であること、しかしながら、刊行物減少傾向の中で本ニュースの新たな位置づけが必要になるので、理事会・評議員会での討論が要請された。ホームページ運営は、木原章ホームページ委員会委員長のもと順調に推移していること、今後新たなページを作成し広報をさらに進める予定であること、男女共同参画委員会や Unibio Press のページなど、充実また新設を計る予定であることなどが報告された。

3. 動物学推進将来計画担当理事報告

長濱嘉孝動物学推進将来計画担当理事より、新メンバーとして上島励会員、古屋秀隆会員を加え、さらには浅島会長、鈴木範男前 Zoological Science 編集主幹、小泉修図書担当理事の出席も得て、本年 2 月28日に基礎生物学研究所において委員会を開催したことが報告された。本年 8 月下旬に北京で開催される国際動物学

会には、本会のリーダーシップに鑑みて、我が国独自に開発された研究材料とそれを用いた研究の進展について紹介することを計画中であること、また本会からの出版事業として2006年中に、12巻からなる「21世紀の動物科学」(仮題)シリーズの出版計画を検討中であり、次回の将来計画委員会で検討し、原案を早急にまとめる予定であること、またこの目的は若手研究者に将来像を提示することがその目的の柱であること等、説明と報告がなされた。小泉図書担当理事からもその重要性が説明された。

4. 渉外担当理事報告

浅島会長より、八杉貞雄渉外担当理事により用意された席上配付資料をもとに、生物科学学会連合の第10回および11回連絡会議の報告、引き続いて細胞生物学研連の第19期第一回および第2回委員会の報告があった。細胞生物学研連には、浅島会長の委嘱により動物学会からは武田洋幸会員と八杉渉外担当理事が委員を務めている。科研費審査委員の選出等に学振のイニシアチブが強くなる状況が会長からも説明された。

5. ガイアリスト21計画委員会報告

佐藤矩行副会長より、将来計画委員会で忌憚のない意見交換が行われたこと、各支部大会での活動も計画中であること等が報告された。

6. 編集委員会報告

道端齊編集主幹より、Zoological Science 誌の順調な発行の報告があった。

7. 電子出版担当理事報告

岡良隆電子出版担当理事より Zoological Science 誌電子化の経緯の概略が紹介され、PubMed から J-STAGE での本誌論文の全文が見えるようになった現在、投稿の窓口の統合が望まれていること、そのためには電子投稿・査読システムの積極的な採用が必須であり、種々の状況から、当該システムとして J-STAGE の新しいシステムの利用を決定したこと等が報告された。さらにこれに向けての作業工程案が席上配布資料を基に説明された。この新システムの稼働後も、本誌への投稿は当面従来の方(紙媒体)も残す予定であることが道端編集主幹より補足された。

8. 動物学歴史資料保存委員会報告

玉手英利動物学歴史資料保存委員会委員長の代理として山本庶務担当理事から、函館大会での企画展示が好評であったこと、動物学雑誌データベース作製が順調に進んでおり、1974年から1983年までの動物学雑誌

に掲載された論文358報(短報を含む)のデータベース化がほぼ完了したこと等が報告された。

9. 男女共同参画委員会報告

大島範子委員長からの資料が席上配付され、2003年10月7日に行われた「男女共同参画学協会連絡会一周年記念行事」が成功裏に終わり、本会の取り組みを紹介したポスター展示が最優秀賞を獲得したこと、さらには、先般行った男女共同参画学協会連絡会での横断的なアンケート調査を分析中であり、具体的な提言につなげる予定であることが、大島委員長の代理として山本庶務担当理事より報告された。

10. UniBio Press について

永井裕子事務局長より、国立情報学研究所が推進する SPARK/JAPAN に選定された生物学系学協会雑誌の電子版ジャーナルパッケージである Unibio Press について説明があった。Zoological Science もその1ジャーナルであり、中心的な役割を担う学協会として本会の責任が重いこと等、席上配付資料を基に説明があった。

11. 平成16年度第75回(甲南)大会準備状況報告

道之前允直理事より甲南大会の順調な準備状況報告があった。

・審議事項

1. 動物学会会長選挙日程について

浅島会長より平成17-18年度会長選挙の日程について提案があり、審議の結果、原案通り可決された。今回の選挙は、5月8日開催の評議員会において、評議員による候補者投票の開票を行い、その結果をホームページに掲載し、生物科学ニュース7月号に会長候補者履歴を掲載する。続いて、7月中に会長選挙、同月下旬には開票を行えるように、選挙管理委員会がその日程を決定することになる。従来より開票時期が1ヶ月遅くなること、支部選挙は従来の日程で行うことが可能であるが、支部役員と会長に同一会員が選ばれたときは次点者の繰り上げを行うことが必要となる。

2. 125周年記念大会記念行事について

浅島会長より、本年度の甲南大会における記念行事としてシンポジウムを計画中であり、講演者について検討中であることが説明された。

3. 改正消費税について

蟻川会計担当理事より改正消費税について説明があり、本会の現状から、平成17年から本会も消費税の納税義務者になること、関連して、各支部の課税取引高

(Z - 34)

集計の必要性、簡易課税制度採用の可能性等、今後の対応についても種々審議された。

4. 日本発科学論文誌の強化について

浅島会長より、現在我が国で計画の進んでいる「英文総合誌」について紹介があり、本会が深く関わるUniBio Pressとの関連が討議された。

第3回理事会は、5月8日(土)に開催される予定である。

以上

定款30条の規定により、議長及び議事録署名人により以上の議事を認め署名する。

平成16年3月5日

議長 浅島 誠
議事録署名人 山本 博章
議事録署名人 蟻川謙太郎

支部だより

中国四国支部・愛媛県例会

日時：2003年12月20日(土) 13:00～15:00

場所：松山市文京町2-5 愛媛大学理学部講義棟301教室

プログラム

1. 近縁種コオロギにおける空気流感覚システムの比較
縄江みゆき・加納正道(愛媛大・理・生地)
2. アサヒナショウジョウバエとユワンショウジョウバエに関する分類及び遺伝学的研究
松本将史・和多田正義(愛媛大・理・生地)
3. ウニ胚原腸陥入時の細胞形態及び細胞数
土居原拓也・高田裕美・小南哲也(愛媛大・理・生地)
4. ウニ胚筋肉細胞決定の時期としくみ
味口裕二・小南哲也(愛媛大・理・生地)
5. キイロショウジョウバエにおける精子置換機構の解析
日原冬生(愛媛大・理・生地)

会員異動

所属支部番号

- 1.北海道, 2.東北, 3.関東, 4.中部, 5.近畿, 6.中国・四国
7.九州, 8.海外

新入会(3/10現在)

富家雅子(4; 920-0293 石川県河北郡内灘町大学1-1 金沢医科大学生物科学教室)/上野秀一(6; 753-8512 山口県山口市吉田1677-1 山口大学理学部自然情報科学科生物科学講座)/並木重宏(3; 305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学大学院生命環境科学研究科情報生物科学専攻神崎神経行動学研究室)/市成秀一(6; 780-8520 高知市曙町2-5-1 高知大学理学部物質科学科生体機能物質工学コース生化学研究室)/岩波健太郎(6; 780-8520 高知県高知市曙町2-5-1 高知大学理学部物質科学科生体機能物質工学コース生化学研究室)/大関泰裕(3; 236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2 横浜市立大学理学部要素科学科生化学研究室)/井上明謹(6; 700-8530 岡山県岡山市津島中3-1-1 岡山大学理学部生物科学科生殖内分泌研究室)/深見泰夫(5; 657-8501 神戸市灘区六甲台1-1 神戸大学遺伝子実験センター)/河知圭介(7; 842-8585 佐賀県神埼郡神埼町大字尾崎4490-9 西九州大学健康福祉学部健康栄養学科生物学研究室)/亀山 大(6; 700-8530 岡山市津島中3-1-1 岡山大学理学部生物科学科生体情報システム)/平田健作(6; 700-8530 岡山市津島中3-1-1 岡山大学理学部生物科学科生殖内分泌研究室)/磯川桂太郎(3; 101-8310 東京都千代田区神田駿河台1-8-13 日本大学・歯学部・解剖学教室第2講座)/森 博章(3; 259-1293 神奈川大学理学部応用生物科学科日野晶也研究室)/Rajapakse, Sanath(1; 060-0810 札幌市北区北10条西8丁目 北海道大学大学院理学研究科生物化学専攻生体情報分子学講座2)/下川佳世(5; 558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学大学院理学研究科生物地球系専攻情報生物学研究室)/新鞍彩子(5; 606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学大学院理学研究科動物学教室動物系統学研究室)

所属・住所変更(3/10現在)

東城幸治(4→3; 305-8572 長野県松本市旭3-1-1 信州大学理学部生物科学科進化生物学講座)/道端 齊(6→6; 739-8526 東広島市鏡山1-3-1 広島大学大学院理学研究科生物科学専攻)/小池 亨(3; 192-03 静岡県静岡市大谷836 静岡大学理学部生物地球環境科学科)/田中幹子(3; 226-0026 神奈川県横浜市緑区長津田町4259 東京工業大学生物理工学研究科生体システム専攻)/川上 優(1→5; 862-8502 奈良市中町3327-8505 近畿大学農学部水産学科)/都丸亜希子(5→3; 113-8657 東京都文京区弥生町1-1-1 東京大学アジア生物資源環境研究センター海洋微生物部門)/馬場義彦(6→3; 270-1194 千葉県我孫子市我孫子1646 財団法人電力中央研究所我孫子研究所応用生物部)/伊澤栄一(4→3; 108-0073 東京都港区三田2-2-24 慶応大学文学部心理学専攻)/佐藤俊平(1; 062-0922 北海道札幌市豊平区中の島2条2丁目4-1 独立行政法人さけ・ます資源管理センター)/勝本恵一(7; 860-0811 熊本市九品寺4-24-1 熊本大学発生病学研究センター再建医学部門幹細胞制御分野)/伊藤篤子(3; 240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134 横浜ビジネスパークイーストタワー14F サイファージェン・バイオシステムズ株式会社)/正木忠勝(6→7; 905-2192 沖縄県名護市字辺野古905番地 国立沖縄工業高等専門学校メディア情報工学科)

生理学研究所大学院（博士課程後期および5年一貫制博士課程）説明会のご案内

生理学研究所では「人体の機能を解明する」ことを目標に分子・細胞・個体の各レベルの先端的研究を進めています（<http://www.nips.ac.jp/>）。また、生理学研究所は総合研究大学院大学の大学院博士課程を通して、博士号の取得が可能で、多くの若い研究者の参加を望んでいます。

平成16年度からは、これまでの博士後期課程（修士卒相当入学）に加えて、新たに、5年一貫制博士課程（学部卒相当入学）がスタートし、既に5名の入学者が決定しています。平成17年度入学の大学院生の募集に先立ち、大学院説明会を以下の日程で開催いたしますので、興味のあるかたはお気軽にご参加ください。

お申込はE-mail お願いします。（下記）
 日時：平成16年5月29日（土）13時～18時
 場所：生理学研究所5階講義室
 （生理学研究所研究棟515号室）
 内容：各部門研究内容の紹介および部門見学
 問合せ先：自然科学研究機構 岡崎統合バイオサイエンスセンター及び生理学研究所 神経分化
 岡村康司 TEL:0564-59-5256
 E-mail:yokamura@nips.ac.jp
 詳細は、<http://www.nips.ac.jp/daigakuin/> をご覧ください。

平成16年度基礎生物学研究所大学院説明会

平成16年度総合研究大学院大学生命科学研究科・分子生物機構論専攻基礎生物学研究所大学院説明会を以下のように開催いたします。生命科学研究科はこれまで3年間の博士後期課程による教育を行ってきました。今年度からこの制度に加え、主に大学卒業者を対象に5年間博士課程（5年一貫制コース）を導入して、大学院教育の充実を図っています。

日時 平成16年6月19日（土）12:30～18:00
 場所 岡崎コンファレンスセンター（愛知県岡崎市）
<http://www.occ.orion.ac.jp/>

ガイダンス、研究室紹介（研究内容紹介の講演／ポスター）、フリートーク、懇親会が行われます。

勝木 元也：来たれ野心ある若者：プロの学者を育てます
 西村 幹夫：オルガネラ分化から細胞分化へ
 大隅 良典：オートファジーの分子機構とその役割
 長濱 嘉孝：性決定・分化と配偶子形成
 諸橋憲一郎：性決定の分子メカニズム
 上野 直人：形態形成シグナル
 野田 昌晴：脳神経系の形成と機能の仕組みを探る
 飯田 滋：植物のゲノム動態と発現制御
 堀内 嵩：遺伝子増幅と遺伝子進化
 山森 哲雄：学習行動と大脳皮質領野形成のメカニズム
 長谷部光泰：発生と進化

井口 泰泉：発生・生殖・性分化とホルモン関連物質
 塚谷 裕一：葉の形づくりのメカニズム
 小林 悟：生殖細胞形成メカニズム
 高田 慎治：脊椎動物の体節形成と形態形成シグナルの機能多様性
 小川 和男：ダイニンモーターの構成、構造と機能
 望月 敦史：生物現象を数学で解く
 笹岡 俊邦：遺伝子操作マウスによる分子の機能解析
 田中 実：生殖腺形成・性決定分化機構の解析

[対象] 学部学生、修士課程（博士課程前期）在籍者と、それと同等の経歴を有する企業在籍者で10月及び来年4月入学希望の方を対象としています。

[参加申込方法] ホームページ（http://www.nibb.ac.jp/univ/explanatory_2004.html）の申込方法をご覧ください。ただし、下記宛に6月11日（金）までに郵送下さい。

当研究機構の宿泊施設の利用を希望される方は、その旨をご記入下さい（宿泊費1泊1500円程度）。宿泊希望者が多数の場合は、遠隔地の方を優先します。宿泊の可否、説明会の詳細は追って連絡致します。

[郵送先] 〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38 自然科学研究機構国際研究協力係 Tel. 0564-55-7134, 7139 E-mail: m7134@orion.ac.jp

最新の情報、詳細については、Web page (<http://www.nibb.ac.jp>) をご覧下さい。

「生物科学ニュース」の購読・ご利用のおすすめ

近年の生命科学の進歩はめざましく、新しい分野が次々と開かれ、その結果として新しい学会や雑誌が次々と設立・刊行されると共に、日々各種の会合がめまぐるしく催されております。もはや個々の学会や個人がこれらの情報を処理していける時期ではなくなってきております。

この時代に対処してゆくために「生物科学ニュース」は日本動物学会および日本植物学会の和文情報誌として、会員への情報伝達、広報はもちろん、生物学に関連した学会・国際会議・シンポジウム・講演会・研修会などの開催予定とプログラム、人事・研究助成金などの公募記事、書評、関連分野の動向などを中心に、幅広く生物科学関連ニュースをもりこみ編集・刊行されています。

「生物科学ニュース」は両学会の約5,000名の会員に配布されていますが、会員以外の個人の方あるいは機関でもご購入いただけます。この機会にぜひご購入くださいますようお願い申し上げます。ご送付先、お電話番号など明記のうえ下記あてハガキ、またはファックスなど書面でお申し込みくだされば折り返し請求書・振込用紙などお送り申し上げます。

記

「生物科学ニュース」 月刊（毎月20日発行）／B5判／毎号平均22頁

編集・発行 生物科学ニュース編集委員会（日本動物学会・日本植物学会）

年間購読料 3,100円（税込・送料無料）

購読料は原則として年間前払いでお願いしております。

ご希望の月号からご購入いただけますが、1月号から12月号までの12冊を一期間としますため、途中月からのご購入の場合は初年度のみ月割の購読料となります。以降は購読中止のご連絡をいただかない限り翌年に自動継続し1月号から12月号のサイクルで更新させていただきます。

機関購読の場合はご送付先にご担当の個人名をお入れください。

お支払いに際し特定の書類が必要な場合は作成いたしますのでご連絡ください。

見本誌ご希望の場合はお送りいたします。

すでに購読ご登録の場合はご容赦下さい。

年間購読料 3,100円（改定された場合は別途ご案内します）

〒113-8531 東京都文京区本郷3-22-5 住友不動産本郷ビル7F

財団法人 日本学会事務センター 学術情報事業部

「生物科学ニュース」係

TEL . 03-5814-5811 FAX . 03-5814-5822

関連記事掲載を御希望の方は、「生物科学ニュース」最新号を参照の上、記事を簡潔にまとめ、下記編集局宛にお送り下さい。編集委員会が関連記事と認めた場合には無料で掲載させていただきますが、様式の統一のため記事の手直しを行なうことがあります。なお、編集委員会では記事の要約表現の改訂を独自に行なうことがあります。また学会や研究会が独自の記事を出したい時には、その都度必要なスペース（“ひろば”欄）を買い切ることができます。“ひろば”の校正は買い切られた方をお願い致します。

◦ 料金：1 ページ（2,000字） 40,000円

1/2ページ（1,000字） 20,000円

1/4ページ（500字） 10,000円

◦ 記事送付先：〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-2 東真ビル 生物科学ニュース編集局

◦ 原稿をお送り下さる場合、以下の点にご留意下さい。

1) 生物科学ニュースに原稿をお送りいただく場合は、生物科学ニュース編集局（bsnews@bsj.or.jp）に、電子メールの本文または添付書類（テキストファイル、マイクロソフトワードまたはアップルワークス書類に限る。ファイル名に拡張子を付ける。）で、Subject に「ニュース原稿」と記入の上、お送り下さい。フロッピーディスクを郵送いただいても結構です。なお、修飾文字や特殊文字をご使用の際は、同時にプリントアウトしたものをファックス（03-3814-6216）にてお送り下さい。図表等のファイルについては、予めご相談下さい。書式等は生物科学ニュース最新号をご参照下さい。

2) 現在のところ、書評欄への投稿は受けつけておりません。

3) 掲載原稿の締切日（必着）は以下の通りです。

No.391 2004年7月号 2004年5月17日（月）

No.392 2004年8月号 2004年6月14日（月）

No.393 2004年9月号 2004年7月12日（月）

No.394 2004年10月号 2004年8月16日（月）

No.395 2004年11月号 2004年9月13日（月）

No.396 2004年12月号 2004年10月12日（火）

No.397 2005年1月号 2004年11月15日（月）

No.398 2005年2月号 2004年11月29日（月）

No.399 2005年3月号 2005年1月17日（月）

運営委員会

社団法人 日本動物学会 蟻川謙太郎・久保英夫・窪川かおる (<http://www.soc.nii.ac.jp/zsj/>)

社団法人 日本植物学会 杉山宗隆・作田正明・米田好文 (<http://bsj.or.jp/>)

編集委員会

社団法人 日本植物学会 青木誠志郎・喜多陽子・澤 進一郎・中西 史・作田正明 (幹事)

社団法人 日本動物学会 赤染康久・小畑秀一・鈴木 忠・服田昌之・久保英夫 (幹事)

発 行 (社)日本動物学会・(社)日本植物学会 生物科学ニュース編集委員会 〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-2
東真ビル / FAX 03-3814-6216

印 刷 昭和情報プロセス株式会社 〒108-0073 東京都港区三田5-14-3 TEL 03-3452-8451

購読申込:(財)日本学会事務センター学術情報事業部 / 〒113-8531 東京都文京区本郷3-22-5 住友不動産本郷ビル7F
TEL 03-5814-5811 FAX 03-5814-5822
